



特別支援教育ほっと通信



「教室環境を整えましょう!」シリーズ
～ユニバーサルデザイン(UD)の視点から～
第1弾「場の構造化」

令和2年6月
西部教育局

教室環境が
乱れていると…

日々の生活が
乱れてくる

子どもたちの
心が
荒れてくる

学習に集中
しにくくなる

こうならないためには…

まずは、「場の構造化」を徹底しましょう!

具体的には… どのに何があるのか、どこにどう置くのかを明確にすること

【小学校の例】



ビニールテープ等で置くものの
場所を表示する。

ロッカーや棚の上に余分なものを
置かない。雑然とさせない。



全教室で意識しましょう!

片付いた状態が「普通」「あたりまえ」と
思える環境が大切です!

先生方が
「よりよい行動モデル」です!

【ポイント】

- ・基本的に、物は同じ場所に片付ける。
- ・個人のスペースは、定期的な点検を習慣化する。
- ・小さな破損もすぐに直す。(机や椅子の名前シール等も重要)
- ・ unnecessary な物や所定の場所以外にある物は、すぐに片付ける。

シールで印をする。

置き方の手本を提示する。

